

会議録

会議の名称		令和5年度第4回ふじみ野市地域福祉計画審議会			
開催日時		令和6年1月31日(水) 開会時刻 午前9時00分 閉会時刻 午前11時00分			
開催場所		ふじみ野市役所第2庁舎3階 B301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	
	会長	山本 美香	事務局	仲野 公堅	
	副会長	岡田 哲郎	事務局	佐々木 佐代	
	委員	奈良 環	事務局	角張 ちひろ	
	委員	市來 久美子	福祉総合 支援チーム	大川 優生	
	委員	當麻 俊輔	社会福祉協議会	土屋 範久	
	委員	柳川 道子	社会福祉協議会	植草 英二	
	委員	山城 いづみ	ジャパン総研	地引 綾	
	委員	小林 和恵	ジャパン総研	新橋 明奈	
	委員	小菅 友美			
	委員	村田 和也			
	会議の議題		(1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画パブリック・コメント結果について (2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)について (3) 第3期地域福祉計画答申(案)について		
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		0人			
発言の内容		別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		福祉部地域福祉課			
議事の確定	確定年月日	令和6年2月 日			
	記名押印 又は署名	役職名 会長 山本 美香 <span style="float: right;">㊟</span> ※自署の場合は、押印不要です。			

## 発言の要旨

発言者	発言の要旨
仲野課長	<p>会議開会に先立ち、事務局より伝達事項がございます。 市では、開かれた市政を推進するため審議会等の会議を公開することとしており、本審議会についても、会議を公開することとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんので、このまま会議を開会させていただきます。</p>
仲野課長	<p>1. 開会 それでは、令和5年度第4回ふじみ野市地域福祉計画審議会を開会します。 本日の審議会委員の出欠状況でございますが、欠席の委員は今野委員、関根委員、鹿島委員、小泉委員の4名で、出席委員は10名となっております。本審議会の総委員数は14名です。本日の出席委員数は、半数以上が出席されており、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第2項に基づく審議会の開催要件を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、本日の審議会には、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第4項の規定により、ふじみ野市社会福祉協議会の職員、また第3期地域福祉計画策定のお手伝いをいただきます、受託業者の株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の職員にも出席いただいておりますので、ご報告します。</p> <p>ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
仲野課長	<p>それでは、次第の「2. 議題」に移ります。 ここからの進行は、ふじみ野市地域福祉審議会条例第6条第1項の規定に基づき、山本会長にお願いしたいと思っております。 よろしくお願いたします。</p> <p>2. 議題 (1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画パブリック・コメント結果について</p>
山本会長	<p>それでは、議題1「第3期ふじみ野市地域福祉計画パブリック・コメント結果」について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(資料1・2により第3期ふじみ野市地域福祉計画パブリック・コメント結果について、素案の修正箇所について事務局より説明)</p>
山本会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>パブリック・コメントが0件というのは残念ですね。ホームページ公開のみで実施したのでしょうか。</p>

仲野課長	<p>市内の各公共施設においても実施しました。同時期に実施していた各部署でもパブリック・コメントの意見が少なかったです。高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画も1件のみで、なかなか市民の方の関心が薄れていると感じています。コメントとしては0だったが、窓口に来た方が意見を言ってくださいました。P14の人口推計に関して、令和2年が推計値になっていましてので、実績値に修正させていただきました。</p>
山本会長	<p>ありがとうございました。そこは大事な部分ですね。 資料説明の際に言っていた、イラストによるページの調整はどこでしょうか。</p>
佐々木係長	<p>基本目標1～3、P63以降の見出し部分などです。前回の審議会でこちらのページが左側に来た方が見やすいという意見がありましたので、デザインを入れる段階で調整していくことになります。</p>
山本会長	<p>その方が見やすいので良いと思います。</p>
柳川委員	<p>P34の市民活動について、活発化は大きな課題になってきます。日本の場合、そういった活動に対する税制制度が出来上がっておらず、また市民活動の延長としてやっているの税金をかけるべきではないと思います。国の制度も含まれていますので、そういったところから変えていかなければいけないですが。企業の市民活動については、税制優遇を図る、経費としてみていくなどをしないと広がっていかないので、今後問題になってくると思います。日本はヨーロッパのようにメセナ活動の発展がありません。そのあたりを考慮していった方がよいと思います。</p>
山本会長	<p>P34のアンケート結果でも「今後連携をしていきたい団体」としてNPOやボランティア団体が高い数値として出ています。みなさん大変な思いをされながら活動していると思いますので、どう支援していくかはとても大事なことです。市や社協で行っている支援はありますか。</p>
仲野課長	<p>市役所では協働推進課で支援を行っています。今年度同課で計画策定を並行して行っており、私も委員として参加しています。地域活動の推進、地域づくりは同じ方向に向いているが、連携をもう少しやっていかないといけないと思っています。色々な会議や団体に同じ人が所属していて、同じ方によくお会いしますので、新たな担い手を作っていくと、持続していくことは難しいと思います。担い手づくりがこれからの課題です。多種多様な活動がありますので、新たな人材が既存の活動に参加していただくことは難しいかもしれませんが、長い目で見ていただきたいです。</p>
山本会長	<p>ありがとうございます。連携しつつ、育てていくということが大事ですね。社会福祉ということだけではなく、違う分野の方にも参画していただくことが大事になってくると思います。 他にご意見はありませんか。</p>
岡田副会長	<p>パブリック・コメントが0件だったのは、住民の関心・参加度を示していると考えられます。私は、地域福祉は住民参加がないと地域福祉ではないと考えていますので、今回の結果は、この計画がまだ住民の計画になっていないということの表れでもあると思います。どのようなPRをすればよ</p>

	<p>いかということを経後の課題として考えていかなければいけないと思います。</p>
山本会長	<p>今回のパブリック・コメント募集については、他の部署の計画もあったということで、公に任せればよいという考え方もあるのではないのでしょうか。どうしたら見ていただけるかを考えていかなければいけないですね。</p>
奈良委員	<p>パブリック・コメントの意味を丁寧に説明する必要があります。無関心にさせてしまうことの原因として、わからないということがあると思いますので。色々な世代の人にわかるようにしていければと思います。</p>
山本会長	<p>私たちは一生懸命取り組んでいますが、文字が多くて敬遠されてしまったのかもしれない。動画しか見ない世代もいますので、わかりやすさは今後必要になると思います。</p>
奈良委員	<p>何を見るのかもわからないのではないのでしょうか。</p>
山本会長	<p>それはあるかもしれないですね。「何でもよい」だとわからないのかもしれない。</p>
仲野課長	<p>市民目線からすると、パブリック・コメントは「大層な意見を言わない」という印象を与えてしまうのかもしれない。地域福祉計画は市民と一緒に作り上げていかなければいけない計画ですので、市としても市民が意見を出しやすいように、全体的にやっていかなければと感じています。できたものをどうやって周知していくか、次年度以降、周知したうえで、地域づくりの在り方を説明していくなど、職員一同で周知をしていければと思います。</p>
山本会長	<p>学生に地域福祉計画を説明する時に、動画を探してもあまり無いです。どこの自治体か忘れてしまいましたが、10年位前に作成されたものがあって、それを見るとだいたいの内容をつかめるものでした。市役所の方や関係団体の方が出てきて「こういうことをやっています」というようなインタビュー動画のようなものでもよいのではないかと思います。</p>
市來委員	<p>審議会等の場で意見は深まりますが、パブリック・コメントは0件で、関心はあるのかもしれないが、能動的ではなく数値として出てきていません。こちらから働きかけをしないといけないのではないのでしょうか。学生などをはじめ、文字ベースに慣れていないというのが一般の方の感覚なのかなと感じますし、動画15分でも、伝えたいことを伝えるだけでも効果があるのではないのでしょうか。また、気軽にチェックできるような方法を考えていかなければいけないと思います。早わかり版はあるが一目見てわかるような資料の作成のチャレンジをしていくとよいと思います。エネルギーや費用もかかるかもしれませんが、時代に合わせた内容を考えていければと思います。</p>
山本会長	<p>学校などに出向いて意見を聞くなどできたらいいですね。</p>
市來委員	<p>ここに関わっている人達だけでも、途中でできるとよいと思います。</p>

仲野課長	早わかり版に載っている活動団体にインタビューする等の動画を作成できればよいのかなと思いました。動画の中で「詳しい内容は、冊子を見てほしい」などを伝えてもよいかもしれません。学生と一緒に作成できたらよいかなとも思います。
奈良委員	大学のHPを見ていただくとわかりますが、大学紹介をプロモーションビデオ風にしています。福祉分野は人材が少なくなっていて、わからないと伝わらないことも多いです。どうやったら若い子や30～40歳の人の心を動かせるかが重要ですので、そういった工夫をしていく必要があります。東上線の車内広告で流せたりするとよいかもしれません。
山本会長	知られていないと意見をもらえませんので、まずみなさんに知っていただかないといけません。ふじみ野市から色々な取り組みをやっていたらよいと思います。  ご意見が他にないようでしたら、議題1の「第3期ふじみ野市地域福祉計画パブリック・コメント結果」についてはここで終了とさせていただきます。  (2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)について
山本会長	それでは、議題2「第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)」について事務局より説明願います。
ジャパン総研	(事前配布資料により概要版(案)についてジャパン総研より説明)
山本会長	ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。  私から一点質問ですが、概要版はどれくらい発行予定なのでしょうか。また、全戸配布や公共施設への配布はあるのでしょうか。
佐々木係長	発行部数は1,000部を予定しています。
仲野課長	内訳の詳細はありませんが、民生委員・児童委員をはじめ、福祉団体等にも配布したいと思います。計画書は300部発行予定です。各データについてはHPへ掲載する等、幅広い方に見ていただけるように工夫していこうと思います。よい配布先があれば事務局までお知らせください。
山本会長	山城委員いかがでしょうか。
山城委員	早わかり版、文字ばかりだと目を通しづらいですが、写真・イラストも入っているので見てもらいやすいのではと思います。 私自身、子ども関係の会議にも出ていますが、ふじみ野市は各課で色々やってくれていて、他市からも「ふじみ野市は手広く取り組んでいる」と言われます。実際に手厚い支援がある、幅広くなっていると感じています。ふじみ野市はよい市であるとわかっていただければと思いますし、これからもよりよくなっていけばいいと思います。

山本会長	<p>この市でやっていることが伝わって、モチベーションを持ってもらえればいいなと思います、</p> <p>P6の「フードバンク」「フードパントリー」「フードドライブ」という言葉の意味が一般の市民にわかるかどうかといった部分が気になりました。注釈を入れられればと思うのですが。</p>
仲野課長	<p>注釈を入れるようにしたいと思います。</p>
山本会長	<p>利用したい人だけでなく、協力したい人もいるかもしれませんね。</p>
市来委員	<p>フード～という言葉はよくありますので、言葉の注釈が付くとよいと思います。特に高齢者はカタカナ、英語などの言葉に慣れていないので、わかりやすい言葉での説明が必要だと思います。</p>
柳川委員	<p>地域福祉はわからない言葉が多いですし、何を意味しているのかつかみづらいところがありますね。</p>
山本会長	<p>村田委員いかがでしょうか。</p>
村田委員	<p>私たちが説明をするのには使えますが、高齢者が自力で読んで理解するのは難しいと思います。福祉を専攻していない学生が見るかという、まだまだハードルが高いと思います。興味がある人や福祉に携わる専門職の人にとっては、わかりやすいし、手に取りやすいものかなと感じました。</p>
山本会長	<p>説明する人がいれば見るが、個人で理解するのはハードルが高いということですかね。</p> <p>A3くらいで全体的にイラストに集約したものを全戸配布すると見ていただけるとはいいのでしょうか。</p>
市来委員	<p>高齢者をはじめ、広く知らせるためには工夫が必要ですが、この概要版は良くできていると思います。基本理念の部分で「こういうまちづくりをしていくのだな」ということは伝わると思いますので、その部分だけでもPRしてもよいのではないかと思います。次の計画策定時のたたき台にできるといいですね。</p>
柳川委員	<p>市報の活用を考えてみてもいいのではないのでしょうか。</p>
山本会長	<p>當麻委員いかがでしょうか。</p>
當麻委員	<p>地域福祉へのかかわりが薄い人にも、地域福祉計画を知るための入り口としてはちょうどいいと思います。ここに注釈が入ると、より文字が増えてしまうので、気になった言葉についてはスマホ等で調べられるので、注釈はいらないと思います。</p> <p>また、電子書籍化できるとより手軽になるのではと思いました。</p>
山本会長	<p>紙媒体だけではなく、色々な媒体があるといいですね。</p>
仲野課長	<p>市報についてですが、今年度策定予定の計画が多くあるので、今回は載せない方向で調整されています。A3版は事務局として作成できるかもしれ</p>

	<p>ませんので検討していきます。電子書籍化などができるかわかりませんが、今後市民の方、多様な方に見てもらうには色々なことを次へ向けて工夫もしていかないといけないと感じました。「今までやってきたからこれでいいんだ」ではなく、今までやった結果が今回のパブリック・コメントの結果になっていますので、次の計画策定の際には、たくさんの方に意見をいただけるような、特に若い人にも見てもらえるように、検討をしていきたいと思っておりますので、ご意見等ありましたらぜひ事務局にお伝えください。</p>
市来委員	紙一枚での早わかり版を市報に挟み込みできないでしょうか。
仲野課長	予算や市報発行の年間計画もあるので調整が必要ですが、A3版の作成は前向きに検討したいです。
山本会長	小林委員いかがでしょうか。
小林委員	会議を重ねたものからすると、わかりやすいと思いますが、私どもの団体への相談に来る人には、支援を必要としている人だけでなく、外国人だけでなく学生などの「支援をしたい」という人も増えています。そういう人にも手にとってもらえるように、多言語が難しくても、「やさしい日本語版」があると地域に参加したいという人も手に取りやすいのではと思います。英語がわからない外国人も多いので「やさしい日本語版」があると良いです。また、ルビがつくとより良いと思います。
山本会長	<p>他市社協の地域福祉活動計画の会議でも同じ意見が出ていました。「やさしい日本語版」があると読みやすくなりますね。</p> <p>小菅委員いかがでしょうか。</p>
小菅委員	<p>私自身、審議会に参加するまでは、地域福祉計画に触れる機会がありませんでした。パブリック・コメントも公共施設に設置していたのですが、公共施設に行くということ自体も少なく、何かがないと行かないのかなと思いました。</p> <p>概要版や計画については、事業所の職員は目に触れますが、生かすことは難しいと感じています。障がい者向けにも「やさしい日本語版」があると内容を理解できるかわかりませんが、読むこと自体はできると思いました。</p> <p>市民に伝えるためには、知りたいことへたどり着くまでの支援が必要だと思います。検索するにも、目的の項目にたどり着くまでの方法が記されていると良いです。HPも調べたい項目にたどり着くのが難しいです。</p>
岡田副会長	早わかり版はいわばプレゼン資料のようなものです。これで終わりではなく、アップデートすることが必要で、興味がある人を離さないようにしなければならないです。地域福祉計画を住民が動かす計画にしていく工夫も必要です。
山本会長	これで終わりではなく、作ってから、周知してどう動かしていくのかがこれからの課題ですね。この計画をもってどう活動を後押ししていくかが大事になります。

	<p>それでは、他にご意見がないようでしたら、議題2の「第3期ふじみ野市地域福祉計画概要版(案)」についてはここで終了とさせていただきます。</p>
	<p>(3) 第3期ふじみ野市地域福祉計画答申(案)について</p>
山本会長	<p>続きまして、議題3の「第3期ふじみ野市地域福祉計画答申(案)」について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(事前配布資料により、答申(案)について事務局より説明)</p>
山本会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。</p>
岡田副会長	<p>配布資料の1～4が課題であり、まさに伝えたいメッセージです。みなさん合意していただけたと思います。市長に答申する時に強調するところが、今回パブリック・コメントが0件だったことが客観的事実としてあったということです。この計画が地域と福祉を伝えて、住民自治を達成させていくことが必要で、その重みを伝えていかないといけないと思いました。あとは、3番の社協の地域福祉活動計画と車の両輪のように連携していくという部分については、住民活動をコントロールするのではなく、いかにボトムアップでそのような動きがせり上がり、それを支援するための仕掛けをこの計画でつくり、支援していくということをしっかりお伝えできるとよいと思います。</p>
柳川委員	<p>4の進行管理についても強調してほしいです。進行管理については各事業が全部関連してくるので、市長にはよく理解していただきたいと思います。</p>
山本会長	<p>他にご意見ありますでしょうか。 以上を持ちまして、議題3は終了いたします。</p> <p>今回が現メンバーでの最後の審議会になりますので、委員のみなさんからお一言ずついただければと思います。</p> <p>(各委員より一言ずつあいさつ(省略))</p>
	<p>(4) その他</p>
山本会長	<p>次に、議題4「その他」です。みなさま何かありますか。</p>
事務局	<p>(特になし)</p>
山本会長	<p>これで本日予定されていた議題は全て終了しました。 それでは、これを持ちまして議長の任を解かせていただきます。 慎重審議ありがとうございました。</p>
仲野課長	<p>3. その他 山本会長ありがとうございました。</p>

事務局	<p>それでは次第の3「その他」ですが、事務局より連絡事項がございます。</p> <p>(今後の予定、現委員の任期、審議会委員報酬の振込予定等について事務連絡)</p>
仲野課長	<p>4. 閉会</p> <p>それでは、今回の審議会は、現任期での最後の審議会となります。委員のみなさまには、第3期地域福祉計画の策定にご尽力いただき、誠に感謝申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第4回ふじみ野市地域福祉計画審議会を閉会いたします。</p> <p>みなさま、ありがとうございました。</p>